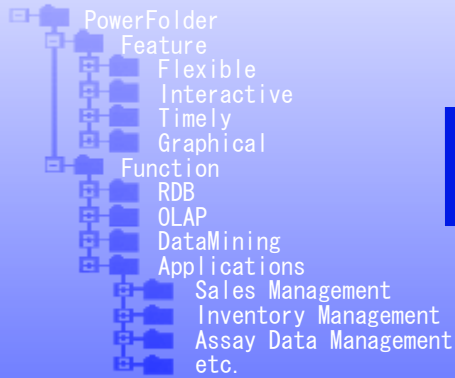


PowerFolder



PF

ACoT

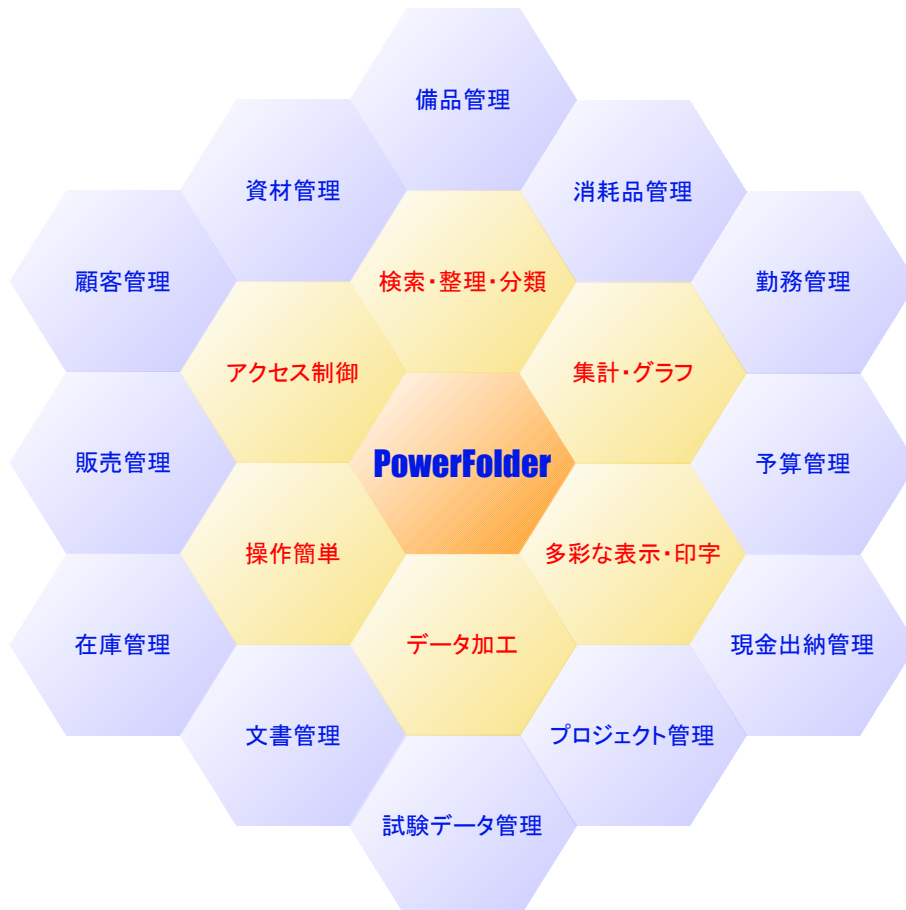
Advanced Computer Technologies Inc.

<http://www.acot.net>

株式会社エイコット

**フォルダを作ればデータが集まり
データを変えればフォルダも変わる
強力なフォルダ**

PowerFolderはデータを価値ある情報に変えます！



PowerFolderは、同じ名前で流通しているネットワークを介してフォルダを共有するフリーソフトではありません。

PowerFolderは、株式会社エイコットの登録商標(登録第4646154号)です。

PowerFolderの仕組みは、特許(特許第3878507号)により保護されています。

■ 用途、目的に応じてデータの整理、分類の仕方が異なる場合にも対応が可能

検索・整理・分類

PowerFolderは、用途、目的に応じて見出し、条件、列挙の3種類の仮想的なフォルダを組合わせて表形式のデータを検索・整理・分類することができます。

見出しフォルダは、下位のフォルダを識別し易くするための見出しに使用します。
条件フォルダは、ANDを直列、ORを並列に作図して簡単に条件設定ができます。
列挙フォルダは、指定するカラムの内容が重複しないようにフォルダを自動生成します。

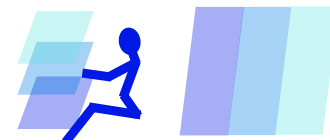


■ マスター化した表を結合して様々な業務への対応が可能

表の結合

PowerFolderは、複数の表を関連付けることができます。

例えば、商品、顧客、従業員など独立した表を販売管理のための表に関連付けてあたかも一つの表のように扱うことができます。
目的に応じて必要な表を結合することで様々な業務への対応が可能です。

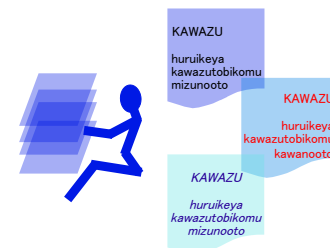


■ 現場に合った画面、帳票のデザインが可能

多彩な表示・印字

PowerFolderは、表形式のデータを各現場で扱いし易くするために、表示する必要のないカラムを非表示設定したり、1レコードを1枚のカード形式で表示したりすることができます。

表示する画面や印字する帳票は、それぞれの現場にあったデザインができます。
市販されているシール状のラベルに住所などのデータを印字することも簡単にできます。



■ 利用者の職務や立場により集計視点が異なる場合にも対応が可能

集計・グラフ化

PowerFolderは、表形式のデータを集計しそれをグラフ表示、印刷、ファイル保存することができます。

利用者の立場や目的により異なる視点で集計したり、また、さまざまなファクターを変えて試行しながらデータの傾向を可視化することができます。

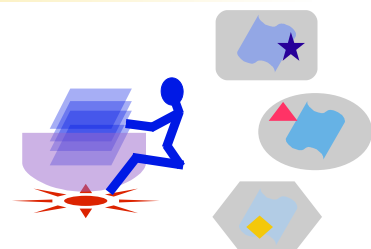


■ 多様なアプリケーションへの展開が可能

基本的な組込関数

PowerFolderは、**文字列操作**、**カラム間の演算**、**日付**、**他表のデータ操作**などの基本的な組込関数が用意されています。

これらの組込関数は、拡張カラムや各フォルダに記述できます。
拡張カラムに記述された組込関数は、データが検索される時に実行され、フォルダに記述された関数は実行する場面が設定できます。
組込関数によりデータの加工ができ、様々なアプリケーションへの展開が可能です。



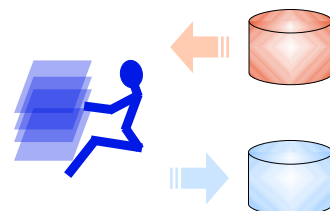
■ 他のシステムとのデータ交換が可能

インポート・エクスポート

PowerFolderは、CSV形式のデータを取り込んだり、出力したりすることができます。

PowerFolderが既存のシステムと連携することによってシステム全体の価値を高めることができます。

PowerFolderは、インポートデータを監視して自動的にデータを取込むことができ、読み込間隔を短くすることでリアルタイム性を良くすることもできます。(オプション機能)

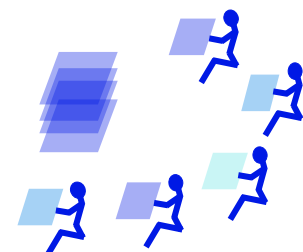


■ セキュリティの確保、ミス防止

アクセス制御

PowerFolderは、複数ユーザで利用することができ、ユーザは各表に設定してあるアクセス権によって利用の制限を受けます。

個人情報が入力されている表で特定ユーザ以外には開示したくないデータがある場合などは、ユーザ設定と各表のアクセス制御の設定で機密性を保つことができます。



◆販売管理の例

PowerFolderの特徴的な条件フォルダ、列挙フォルダとデータ共有時のアクセス制御について販売管理の例で説明します。

① 顧客管理の表

② 商品管理の表

③ 販売管理の表

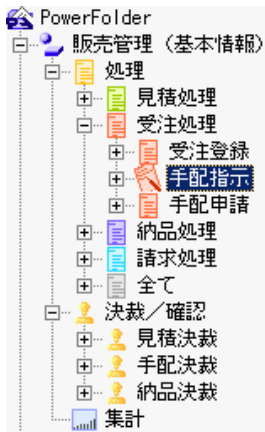
④ 見積書、請求書

⑤ 売上実績

①顧客管理用の表と②商品管理用の表を結合して新たに③販売管理用の表を作成し、これから④見積書、請求書などを自由にレイアウトして印字したり、⑤売上実績などを集計しグラフ化したりすることが簡単にできます。

◆条件フォルダの例

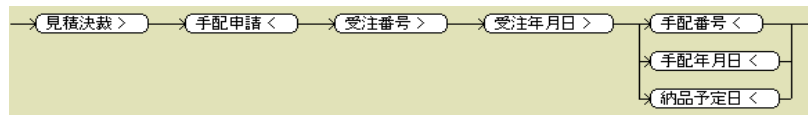
PowerFolderの条件フォルダに目的のデータを特定する条件を設定すると、対象データの中から目的のデータのみを抽出することができます。



条件は検索条件図を作成して設定し、その操作はマウスで簡単にでき複雑な条件には威力を発揮します。この例は、手配や指示が必要な案件を表の中から検索して表示するためのフォルダ設定です。

見積決裁が済みかつ手配申請はまだ済んでいないかつ受注番号と受注年月日が入力済みのデータで手配番号、手配年月日、納品予定日のどれかが指示されていないものを対象に検索し一覧表示します。

手配指示フォルダには下図のように条件が設定されています。



手配指示フォルダを開くと上記の条件に合致したデータが表示されます。手配番号、手配年月日、納品予定日を入力すると、条件を満たさなくなり、このフォルダからは消え、手配申請フォルダで表示されるようになります。

見積、受注、納品、請求、入金、それらの決裁に必要なカラムのデータの内容によりデータの状態を特定することで販売管理が簡単にできます。

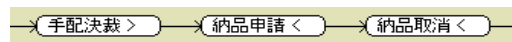
◆列挙フォルダの例(条件フォルダ、見出フォルダとの組み合わせ)

PowerFolderの列挙フォルダに着目するカラムを設定すると、対象データから着目カラムの内容が重複しないようにフォルダを自動生成します。



この例は、納品チェックの場面で、納入先別、担当者別、納品予定日別に納品待ちの案件をチェックするためのフォルダ設定です。

納品チェックフォルダは条件フォルダで、手配決裁済みかつ納品申請待ちかつ納品取消していないという条件が設定してあります。



納品予定日フォルダは見出フォルダで、下位のフォルダが何かを分かり易くするためのものです。

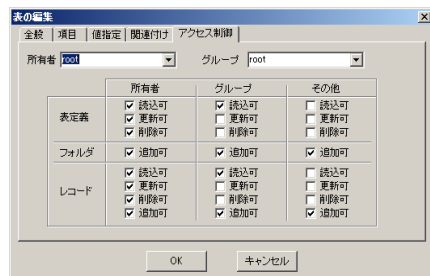
納品予定日フォルダの下位に納品予定日毎に仕分けされた列挙フォルダが表示されています。

納品予定日フォルダのアイコン左の+をクリックして-にすると納品予定日毎のフォルダが自動生成されます。自動生成された各々フォルダを開くと、フォルダ名の日付が納品予定日になっているデータの一覧が表示されます。

同様にして、納入先別、担当者別にチェックできるように見出フォルダと列挙フォルダを設定します。

◆アクセス制御

PowerFolderは、複数ユーザでデータを共有することができ、ユーザ毎に表、フォルダ、レコードでアクセス制御ができます。



この販売管理では、見積、手配、納品の各段階で管理者の決裁が必要になっています。決裁/確認フォルダは、管理者のみに書込が許され、一般ユーザは書込ができないように設定されています。

PowerFolderのユーザは、ユーザ登録の際、グループを指定することができます。PowerFolderのデータは、レコード毎に所有者が設定されます。

左はアクセス制御の設定画面で、表毎に設定できます。表定義、フォルダ、レコードに対して所有者、グループ、その他のユーザ毎に読込、更新、削除、追加の権限が設定できます。ユーザ「root」には全ての権限が与えられています。

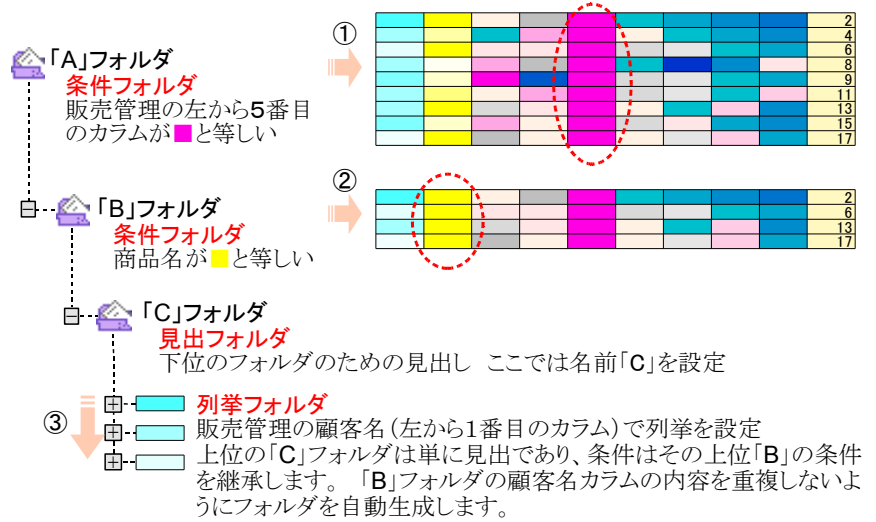
■仮想的なフォルダの概念

顧客管理					商品管理				

この概念図の販売管理の表は、顧客管理の表から顧客名や担当者などを、商品管理の表から商品名や単価などを得て、それらに対する見積、受注、納品、請求、入金に関するカラムで構成されています。販売管理のカラムの内容の違いを色で表現しています。

販売管理										
										1
										2
										3
										4
										5
										6
										7
										8
										9
										10
										11
										12
										13
										14
										15
										16
										17
										18

販売管理のためのカラム
 商品管理の表から得た商品名カラム
 顧客管理の表から得た顧客名カラム



PowerFolderのフォルダは、全て仮想的なフォルダで、実体の表データから目的に応じた条件や列挙や表示の書式の仕方を設定した指示の塊です。フォルダがクリックされると、そこに設定されている指示に従って実データからデータを検索して表示します。「A」フォルダを開くと販売管理の左から5番目のカラムが■のものだけが表示(①)され、「B」フォルダを開くと上位の「A」フォルダの内容を対象に商品名カラムが■のものだけが表示(②)されます。「C」フォルダの下位の列挙フォルダは「B」フォルダの内容を対象に1番目のカラムに着目して内容が重複しないようにフォルダを自動生成(③)します。列挙フォルダの■フォルダを開くと10番目のカラムが「2」、■フォルダを開くと「13」、■フォルダを開くと「6」、「17」のレコードが表示されます。

この説明では、「販売管理の5番目のカラム」などの表現をしていますが、実際は表のカラム名を指定します。

■表データ管理から業務管理へ

PowerFolderの機能を用いて表を結合し、データを加工し、使いやすい画面や帳票をデザインし、集計し、グラフ化すれば、単純な表データの管理が様々な業務の管理に応用できるようになります。

例えば、下記の表をPowerFolderでデザインすれば、販売管理、在庫管理、勤務管理、プロジェクト管理、給料計算の業務が可能になります。

表	マスター表	結合する表	管理に必要な主なカラム
①課員データ	○		氏名、生年月日、性別、出身地、資格、家族構成など
②顧客データ	○		顧客名、住所、担当部署・課、担当者名、割引率など
③商品・サービスデータ	○		商品名・サービス名、単価など
④仕入先データ	○		仕入先名、住所、担当部署・課、商品名・サービス名、単価など
⑤販売管理データ		①②③⑤	注文、受注、納品、請求、入金、決裁にかかわるカラムなど
⑥在庫管理データ		③④⑤	品名、終了、出入庫数、納入先
⑦勤務管理データ		①⑤⑧⑩⑫	割当作業工程、時間外、交通費、訪問先、通信欄など
⑧プロジェクト管理データ		①⑤⑩⑫	プロジェクト名、担当者、割当、作業工程名、時間など
⑨給料データ		①⑦⑧⑩⑫	基本給、諸手当、時間外、税金、保険など
⑩源泉徴収税額表	○		所得範囲、税額など
⑪カレンダー	○		週間、月間の予定など
⑫作業工程一覧表	○		作業工程名、工程単価など

■動作環境および表に関する仕様

◆動作環境				
OS	Windows Linux(サーバのみ)		メモリー	WindowsはMicrosoft社の推奨メモリーサイズ
ディスプレイ	1024x768以上推奨		ハードディスク	PowerFolder自身は約1MB
◆表に関する仕様				
最大カラム数/表	64,000	最大レコード長	120KB	最大レコード数/表 約40億 最大サイズ/表 52GB

■価格・サポート

商品・サービス	価格	説明
PowerFolder(Windows版)	¥88,000	Windowsの共有ファイルの仕様範囲内で複数ユーザ利用可
PowerFolderサーバソフト	¥400,000	共有ファイル機能を使い表を1カ所で管理する場合、クライアントの数により別途相談 Linuxで動作するPowerFolderの表DB用のサーバソフト 別途PC用のPowerFolderが必要
初期導入費(Windows版)	¥40,000	Windowsの共有ファイルを用いないでLAN、WANを介してデータを一元管理する場合
(サーバソフト)	¥80,000	データ移行や運用に関する技術指導(自力導入されるユーザは必要ありません)
有料セミナー	¥20,000	最大4時間、10名までの出張セミナー(首都圏以外交通費別途)
メールサポート	無料	メールによるサポート Windowsに関するサポートは対象外
個別システム	別途相談	PowerFolderを応用した専用システム開発、PowerFolderのカスタマイズなど承ります。

ACOT <http://www.acot.net> 03-3485-5046

株式会社エイコット

〒151-0066 東京都渋谷区西原3-20-5 ファーストパティオ2F